

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

株式会社 JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期に承ります

新刊のご案内 4/25(火)発売! ユニコ舎

発行：株式会社ユニコ TEL:03-6670-7340 FAX:03-4296-6819 東京都世田谷区船橋 2-19-10 ポー・プラージュ 2-101

ざっばく 雑駁の日録 工藤尚廣 著

[新刊] ISBN978-4-911042-00-7 四六判 / ソフトカバー 定価：本体 1,500 円 + 税

読むと元気になるとまではいかないけれど、
馬鹿だねえと俄かに楽しくなる 便利屋ライターの
妙ちきりんなエッセイ集



現在はユニコ舎という小さな出版社の代表を務めている著者。彼をライター業、編者業に駆り立てたものとは？ 学生時代に書いた日記、雑誌に掲載された記事、そして個人ブログ「湘南逍遙」の記事などをリライトしてまとめたのが「雑駁の日録」。時代の空気や出版界の趨勢を便利屋ライターらしくゆる～く伝えるエッセイ集。

還暦を過ぎてから自分の書いてきた記事、日記、ブログを読み直してみました。それはまったくの“雑駁の塊”でした。もう一度生まれ変わって出直す“還暦”のスタートラインを見つけないがために、その“雑駁の塊”をリライトしてみました。そうしたら「読むと元気になるとまではいかないけれど、馬鹿だねえと俄かに楽しくなる」ストーリーができたと思えるような奇妙な感覚に陥りました。拙著の出版が人生リスタートのホイッスルにしたいと思っています。自ら起ち上げた会社“ユニコ舎”で自らの著書を出すなんて正気の沙汰とは思えません。しかも、内容が「雑駁——知識や考えが雑多でまとまりがないこと」。まさに自己満足の“狂気の沙汰”を冷やかな目で楽しんでいただけただけなら幸いです。(著者・工藤尚廣)

工藤尚廣◎くどう・なおひろ

1960年4月25日、埼玉県戸田市生まれ、新潟県村上市育ちの“羊の皮をかぶった山羊”。1979年3月に上京後、学生時代から出版業界に身を置き、フリーランスのライター、記者、編集者を生業としてきた。「新建築」「ザテレビジョン」「TVガイド」「aural」などで“便利屋”として活動。「クルーズマガジン」「船の旅」(東京ニュース通信社)、文学通信紙「総国(ふさのくに)逍遙」(朝日新聞千葉ヒルズ)、テレビ情報誌「おとなのデジタルTVナビ」(産経新聞出版)の編集長を歴任。東京ニュース通信社でプレミアムムック「歴史航海」「時間シリーズ」(ハワイ・ドバイ・マレーシア・上海)、「世界に乾杯!」(アグネス・チャン著)、「不思議航海(ミステリークルーズ)」(内田康夫・早坂真紀共著)の編集人を務め、産経新聞出版で「テレビの国から」(倉本聰著)をプロデュース。1997年に湘南・大磯町に転居し、2009年1月から個人事業主・湘南文学舎を主宰し、個人ブログ「湘南逍遙」を開始。2014年12月に特定非営利活動法人夢ラボ・図書館ネットワーク、2020年1月にユニコ舎を起ち上げて、「温故知新」に根ざした出版活動をつづけている。

番線印	ご担当	ご注文	発行：ユニコ舎
	様	冊	<p>新刊 雑駁の日録 工藤尚廣 著</p> <p>[新刊] ISBN978-4-911042-00-7</p> <p>定価：本体 1,500 円 + 税 四六判 / ソフトカバー 318 頁 (本体)</p>